

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年10月20日（月）～平成26年10月26日（日）〔平成26年第43週〕の感染症発生状況

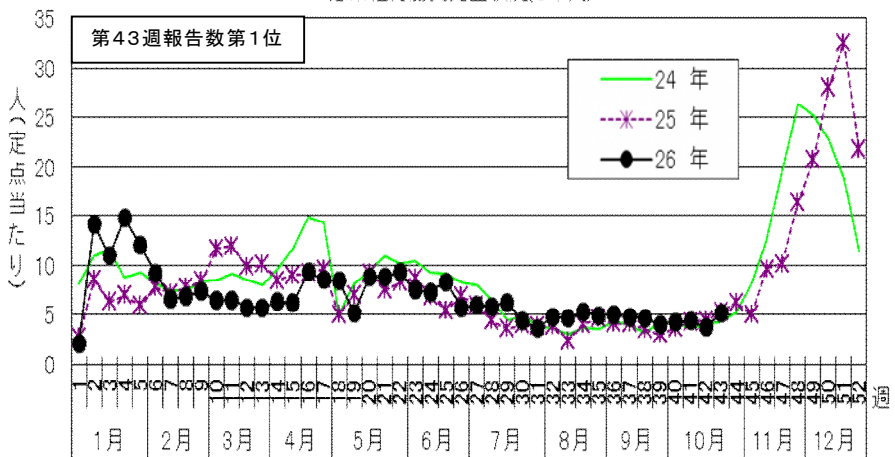
第43週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.15人と前週（3.79）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

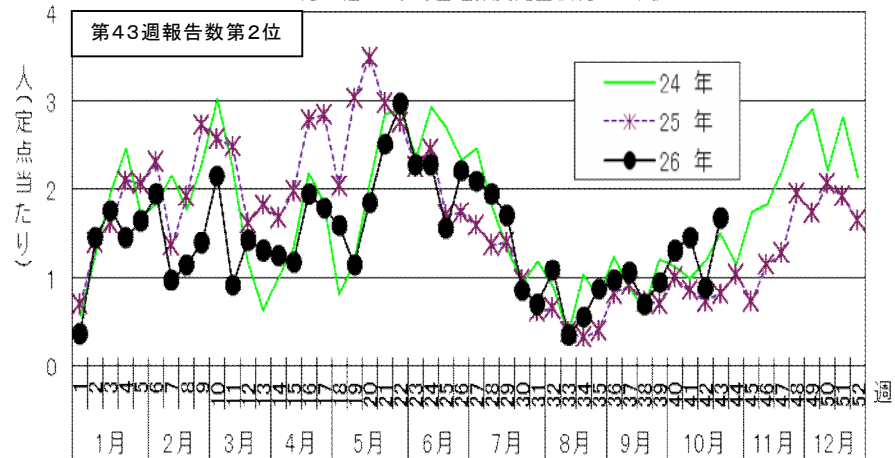
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.67人と前週（0.88）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## エボラ出血熱について

2014年3月以降、西アフリカでエボラ出血熱が流行しており、10月25日付けの世界保健機関（WHO）の情報では、疑い例を含む患者が10,141例、死亡例が4,922例報告されています。現在も、ギニア、リベリア、シエラレオネでは患者が発生しています。

～市民の皆様へのお願い～

1か月以内に、西アフリカのギニア・シエラレオネ・リベリア・コンゴ民主共和国から帰国し、38℃以上の発熱がみられた場合には、自宅で待機の上、お住まいの区の保健福祉センター（保健所）までご相談ください。

エボラ出血熱ってどんな病気？

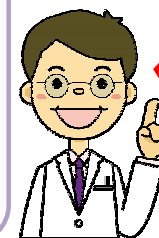
### 感染経路

エボラウイルスに感染し、症状が出ている患者の体液等（血液、分泌物、吐物・排泄物）や患者の体液等に汚染された物質（注射針など）に十分な防護なしに触れた際、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。

**潜伏期間**：2～21日

### 症状

突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛等の後、嘔吐、下痢、胸部痛、出血（吐血、下血）等



エボラ出血熱は、インフルエンザのように容易に飛沫感染する可能性は非常に低く、患者の体液等に直接接触することで感染しますので、冷静な対応をお願いいたします。